

2024国際教養科 NEWS 8月

7/13～7/22 2年国際教養科はイングランド オックスフォード・ロンドンへ語学研修旅行に行ってきました。

以下の報告書をお読みください。16ページの長編です！

2年国際教養科35名、普通科2名、引率2名で、本校で初のイギリス（イングランド）語学研修旅行となりました。天気にも恵まれ、素晴らしい研修旅行となりました。以下の長編報告書は、お世話になった(株)ISA 高崎支店の教育旅行添乗員のバレスター・あゆみさんの執筆と、生徒たちが集めた写真です。長編のニュースとなりますが、是非とも最後まで読んでください！

【長野西高等学校 海外語学研修 1日目～2日目報告書】

研修出発日。集合場所に集まる生徒達の表情は、出発への期待に満ちていました。多くの保護者の方に見送られ、一同は新幹線改札の中へ。羽田空港まで迷子にならずに到着するのが最初のミッションです。37名が気持ちを一つにして東京駅、浜松町を経て、羽田空港第三ターミナルに到着しました。スーツケースを受け取り、チェックインを済ませ、いよいよ出発！と思ったその時。嬉しいサプライズがありました。私たちが搭乗する飛行機は深夜に羽田空港を出発します。そのため、JALのサクララウンジ・スカイビューで食事をいただけることになったのです。時は既に22:00。新幹線の中で軽く食事を済ませた生徒もいましたが、ラウンジに入れるとなったら別腹です。ホテルビュッフェのような食事の数々に、思わず笑みがこぼれます。これから始まるイギリス生活、最後の日本食を噛みしめて羽田空港を後にしました。

約13時間のフライトでしたので疲れは見えましたが、まだまだ元気です。研修の舞台となるラスキンカレッジに向かうバスに乗り込んで、ロンドンからオックスフォードに移動します。カレッジで出迎えてくれたのは、笑顔の可愛いMarenです。自然なスピードの英語で今日のスケジュールを説明するMarenの言葉を聞き取るのが次のミッション。若干心配になりましたが、やはり西高生！単語と単語をつなぎ合わせて言いたいことを推察できています。学生寮に荷物を一旦預け、昼食を取りにカレッジに行きます。徒歩15分ほどの距離には、映画や絵本で見たようなイギリスの住宅街が立ち並んでいます。歴史を感じるレンガの塀、色とりどりの花が植えられた庭を横目に、「イギリスにいるんだな」という気持ちが高まります。

カフェテリアで、サンドイッチとチップス、クッキーといった、いわゆる海外の軽食ランチをいただきました。長旅を経ているのですが、イギリスはまだお昼時。満腹で睡魔が襲いかけたその時に、Marenが「オックスフォードの街に行きたい？」と提案してくれました。カレッジからオックスフォードの中心街までは車で約15分の距離です。ほとんどの生徒が「行きたい！」と手を挙げます。イギリスを象徴する2階建てバスに乗り到着したのは、有名なクライストチャーチ近くの繁華街です。自分がどこにいるのか分からずきよろきよろしている生徒もいましたが、そこは10代の適応力。すぐに街に溶け込んで思い思いに散策を楽しみました。カフェでゆっくりお茶をしたり、家族へのお土産をたくさん買ったり（初日なのに！）楽しい時間を過ごすことができました。

散策の後は寮に戻り、各自の部屋に移動します。自分の部屋がどこにあるのか分からず、ルーム

キーが作動しないハプニングもありましたが、無事に部屋にたどり着くことができました。しばし部屋で休憩を取った後、再びカフェテリアへ。この時間になると各国から集まった生徒たちにカフェテリアで出会います。イタリアやスペイン、台湾など。明日からクラスメイトになるかもしれない生徒が、集結するディナーとなりました。今夜はサッカーのイングランドとスペインの戦なので、次なる集結地はテレビの前！長野を出発してから長いながい一日となりましたが、白熱する試合とともに、もう少し夜は長引きそうです。

一人ひとりチェックインをします



おしゃれなラウンジでディナータイム



笑顔で「行ってきます！」



ヒースロー空港でいただきます♪



Maren とともにオックスフォードへ！



研修3日目。いよいよ今日から本格的な研修が始まりました。長時間の移動を経てたので、時間通りに起きられるか心配しながら朝食会場のカフェテリアで登校(?)を待ちます。しかし、こちらの心配をよそに全員が時間通りに現れました！海外研修では、時差で眠れないことや、目覚ましの音に気が付かないで起きられないことは珍しくありません。日本を出発してから、決められた時間を守る姿勢は続いています。

少し赤い目をこすりながら、プレースメントテストの会場に向かいます。筆記テスト(文法や読解、英作文)とスピーキングテストを受けた一同。「思っていたより簡単だった」「あそこの問題、意味が分からなかった！」と悲喜交々の感想が飛び交います。試験の結果、3つのクラスに分かれレッスンを受けることになりました。クラスメイトは、スペイン、ポーランド、チェコ、オマーン、台湾、香港などの国から英語を学びにきた10代の学生たちです。今日はテストがメインだったので、自己紹介や簡単な質問を受けたクラスもあれば、動画を視聴してその内容をペアの生徒とともにまとめるという、コミュニケーション力が問われる内容もありました。早速クラスに馴染んでいる生徒もいますが、周囲の発言力や英語を話すスピードに圧倒された生徒が多かったようです。日本で受けている英語の授業とは異なるのは内容だけではありません。同じクラスにいる生徒たちの様子がまるで違うのです。質問に対する答えや自分の思ったことは間髪入れず話していく姿を見て、自信を無くしてしまった生徒もいました。とはいえ、今日は初日。これからどのように成長していく姿が見られるのか、とても楽しみです。

午後は語学学校のスタッフ2名と一緒に、オックスフォードツアーに行きました。女性のスタッフ Aili は日本のハーフなので少し日本語が分かります。また、男性のスタッフ Ema はイタリア人ですが、日本に興味があり「let's go は日本語で何て言うの？ How are you は？」と質問攻め。覚えてたの日本語を使ってツアーを仕切ってくれました。訪れたのはセント・メアリー教会、ラドクリフ・カメラ、嘆きの橋など。なんとプロのカメラマンが同行してくださり、たくさん写真を撮っていただきました。古くから続くカバードマーケットには、イギリスらしい紅茶やチョコレートなどのお店もありますが、人気だったのが日本食(井ぶり)とケバブのレストランです。オックスフォードの中心街ではお寿司のお店もあるので、地元の方々にも日本食が受け入れられていることが分かりました。

月曜日の夜を飾るアクティビティはヒューマンビンゴとスピードフレンジングというゲームです。ラスキンカレッジでは、授業以外にもアクティビティとして、毎日異なる活動に参加します。今日は新しく入寮した生徒が多い曜日なので、自己紹介と友達作りを兼ねたアクティビティとなりました。どちらのゲームも、紙に書かれた生徒を探して話しかけます。ビンゴでは「得意な科目は数学」「Nintendo Wii を持っている」という生徒を探してマスを埋めていきます。スピードフレンジングでは、「将来の目標はなに？」「最近好きな映画やテレビ番組はなに？」という質問に対して文章で答えなければなりません。テスト後の教室では、まだ少し緊張感の残る生徒たちでしたが、このアクティビティを通してずいぶんと打ち解けたようでした。今日は断続的に降る雨で、いかにもイギリスらしい一日となりました。夜のアクティビティが終わって寮に帰るころには大雨になっていて「さすがにこの雨だとイギリス人も傘をさしているね」と変なところで關心してしまう一場面もありました。

日本を出発してからずいぶんと時が経ったように感じていますが、今日はラスキンカレッジで受けるレッスンの初日です。それにも関わらず、自分から積極的に他国の生徒に話しかけに行く姿が見られました。各々が自分のペースで研修に挑んでいます。もちろんまだまだ力を出し切れていない生徒もいます。行動できない・自分から話しかけられなくて悔しい思いに涙する生徒もいました。レッスン初日で悔し涙を流しているのであれば、必ずこの研修中に成長できるでしょう。明日からの活躍がとても楽しみです。

教会の前で Big Smile!



厳かな教会の中では静かに鑑賞しました



スピードフレンディング①お互いに質問をします



フレンディング②想像してたよりも話しかけやすい!



フレンディング③どの質問をしようか迷う...



ヒューマンビンゴ①熱気あふれるビンゴ会場♪



ビンゴ②他国の留学生からも話しかけられちゃった!



ビンゴ③アクティビティリーダーにも質問します



【長野西高等学校 海外語学研修 4日目報告書】 ⑧-5

研修4日目。昨晚の大雨から一転、青空の広がる朝となりました、今日は朝食後すぐにアクティビティがあります。みんな慣れた様子で集合場所に集まり、いつものバスでオックスフォードの中心部へ移動します。誰に教わるでもなく目的地に向かう後ろ姿は頼もしく、まるで現地のカレッジに通う学生のようにです。

今日のアクティビティは、トレジャーハントです。ダウンタウンの地図を見ながら、指定された建物やお店、歴史的な像や有名なキャラクターを探してその写真を撮ります。問題は全9題で制限時間は約1時間。ストリートにある地図を参考にしたり、地元の方にインタビューしたり、様々に工夫を凝らして問題に取り組みました。ですがこの問題。大人でも解くのが難しい！地元の方に聞いても「どこにあるかは知らないなあ」と言われたようです。残念ながら西高生は時間内に全て解くことはできませんでしたが、昨日までとは違う視点で街を知ることができました。

午前中からたくさん歩いた後は、お待ちかねの昼食です。寮での食事は、これで6度目になります。少しずつ他国の生徒に話しかけられるようになりましたが、まだまだ西高生だけで固まって食事をする姿が見られます。日本語でお喋りをしているので、日本人だけが座っているテーブルがそこかしこに。研修中は毎日しおりに日記を書いてもらうのですが、「話しかけたいのにためらってしまった」「他国の人たちで固まってご飯を食べているから、近づきにくい」というコメントを見かけます。食事時も交流したい気持ちはあるのですが、まだ自分の殻を破ることができません。

昼食後は本日の授業へ。昨日受けたプレイスメントテストのクラスに移動します。1クラスに数名の西高生がいる所もあれば、1名しかいない所もあります。先生の話すスピード、クラスメイトの積極的な態度に圧倒されてしまいます。それでも何とか「失敗しても誰も怒らないし、笑われたって気にしなければいい」と気持ちを切り替えて挑みます。中には、クラスメイトの前でプレゼンを行ったクラスもありました。日ごろ学校で練習を重ねている学習内容が活かしています。「授業の内容が簡単だから、上のクラスに上げて欲しい」とスタッフに直談判に行った生徒もいました。思い通りに簡単にクラスが変更できるわけではありませんが、自分の思っていることを臆せず行動に移せる姿勢は素晴らしいです。

午前中から街を散策し、授業で揉まれ、本日最後は夜のアクティビティです。今日のテーマは「カラオケナイト」！日頃から「カラオケ大好き！」という生徒もいれば、当然「人前で歌なんか歌えない」という生徒もいます。実際にカラオケが始まると、近くの教室でダンスナイトに参加していたグループと混ざり合い、全員が踊り飛び跳ね拳を突き上げながら合唱する事態となりました。語学学校の先生が事前に「カラオケとダンスはね、カオスだよ」と言っていた意味がようやく分かりました。今まで話しかけるのに躊躇していた生徒たちも、この機に乗じてどんどんと交流を深めていきます。汗だくになりながら音楽に合わせて楽しむのに国境も言葉も関係ありません。この夜はととても思い出深い経験となりました。

早いもので、明日はこの研修の折り返し日となります。自ら動き出している生徒がいる一方で、最初の一步が踏み出せない生徒もいます。カレッジで過ごすのはあと3日です。日本に戻ってから、「あの時もっと話しかければ良かった」と後悔することのないように、全力で取り組んで欲しいと思います。

トレジャーハントでオックスフォードの街を大搜索！





カラオケ（ダンス？）ナイトでフィーバーしました！



【長野西高等学校 海外語学研修 5日目報告書】 ⑧-8

研修5日目。本日は天気に恵まれ、青い空が広がる気持ちの良い一日となりました。語学学校での授業にも慣れ、担当の先生が何を言っているのか分かるようになってきました。しかし、中には英国アクセントがきつくて理解するのが難しい先生もいます。また語学学校には世界中から生徒が集まってきているので、スペイン系の英語やイタリア系の英語など、日本で学習してきた英語とは異なるアクセントが飛び交います。驚かされるのは、他国の生徒たちが話すスピードの速さです。クラスはレベル別になっているので、英語力に差は無いにも関わらず、ネイティブスピードで話す生徒たち。研修5日目ですので、会話を理解することはできるようになってきましたが、聞き取るのに必死で自分の言いたいことが言えずに悔しい思いをする西高生。この研修は「語学研修」ではありますが、イギリスにきたからといって短期間で英語力が飛躍的に伸びるわけではありません。このレッスンを通して感じた自分の実力を、日本に戻った時にどう成長させていくかを考えることに価値があります。毎日記載している日記にも、自分の語学力に自信が持てなくなり「こんなはずじゃなかった」という記載を見かけます。その思いを成長の糧にして、一秒も無駄にせず行動し続けて欲しいと思います。

恵まれた天気の下、午後のアクティビティは公園で行いました。カレッジに近いとても大きくて自然あふれる公園です。バスケットボール、卓球、バドミントン、サッカーなど、自分が好きな種目に参加します。国籍も性別も関係なく、楽しみながら取り組めるのはスポーツの素晴らしいところです。運動部に入っている西高生でも「他の国の生徒はレベルが違う！」と運動神経のすごさに驚いていました。確かに男女問わず走るのも速いし、ボールを扱うのも上手です。文化祭の後、こんなに動いて汗をかいたのは久しぶりだったかもしれません。「疲れたけど楽しかった！！」と他国の生徒と笑顔ではしゃぐ姿は、本当に良い時間を共有できたのだと感じました。一方、体を休めたい生徒は芝生の上でカードゲームを楽しみました。青空のものとんびりゲームを楽しみ、お喋りをしながら親交を深めることができましたようです。

公園で過ごした後、夕食までは数時間あったので、自由時間を取ることにになりました。カレッジに戻っても、寮に行っても、バスに乗ってオックスフォードの街中に行ってもかまいません。約3時間のフリータイムとなったのですが、ここでいくつか問題が発生しました。寮のルームキーを紛失する生徒、集合時間まで戻って来ない生徒がいたのです。イギリスで過ごす生活の中で、少なからずの生徒がルールを守れなかったのは初めてのことでした。他国の生徒にしてみたら、集合時間に数分遅れることや私物を紛失することは珍しいことではありません。しかし、ルールを守る日本人の生徒は常に「すごい！」と語学学校の先生方やアクティビティリーダーから褒められてきたのです。私たちの行動は他国の生徒の手本となるような振る舞いでした。それがここに来て、良くも悪くも海外のルーズな行動に染まってしまったのです。行動制限を設けない自由時間は、生徒と先生との信頼関係のもとに成り立っています。ここは日本ではないのですから、軽率な行動が危険な状況に陥る可能性があります。このような状況では、生徒を信頼して自由に行動する時間を与えるわけにはいきません。失敗することが悪いわけではありません。大切なのは、失敗をどのように乗り越えていくか、失いかけた信頼をどのように取り戻すかを考えて行動に移すことです。研修5日目の夜は気持ちの良い終わり方ではありませんでした。しかし、帰国までのわずかな日数を全力で取り組み、後悔のない活動をしてもらうには必要な時間だったと思います。今夜の反省を、明日以降どのように挽回していくのか、今後の報告書をお待ちください。

バスケット部の本気を見せる！



和やかな卓球



白熱(?)しているバドミントン



芝生の上で優雅に UNO



夜のアクティビティ



昼間のリベンジゲーム



【長野西高等学校 海外語学研修 6日目報告書】 ⑧-10

研修6日目。昨日と同じくすっきりとした朝になりました。寮からカレッジまでは徒歩約15分。少しひんやりとした空気をまとってカフェテリアに向かいます。昨夜の話を受けて、朝食の場に変化が起きました。いつもは西高生がテーブルに集まって食事をしていますが、今朝はオマーンの生徒や台湾の生徒と共に席についている姿が見えます。前日からSNSで連絡を取り、一緒に食事をする約束をしたようです。日本人同士で固まって何となくおしゃべりをしながら過ごす時間が変わってきました。「自分たちが話す時も英語を使おう」と英語での会話も聞こえてきます。レッスンやアクティビティ以外でもイギリスの生活に自分たちを染める行動が広がってきました。

本日は午前中がアクティビティの日です。訪問したのはマグダレンカレッジです。オックスフォードに数あるカレッジの中でも美しい建物や庭園が有名で、名前の由来となっているのは聖書に出てくるマグダラのマリアです。素晴らしい彫刻とステンドグラスが飾られたチャペルや、紫陽花が咲き誇る中庭、草をはむ可愛らしい鹿に癒され、静謐なひと時に包まれました。

語学学校では、様々なアクティビティに参加しています。昨日のようなスポーツや、オックスフォードの歴史的な建造物を散策するツアーや街全体を使ったクイズ大会など。本日は普段はなかなか入れないカレッジを訪れることができましたが、生徒の多くは明日訪問予定のワイルドライフパーク&ガーデンズ(動物園とちょっとした水族館が一緒になったような施設)を楽しみにしています。英語の授業だけでなく、こうしたアクティビティを通して様々な国の生徒たちと交流をして友達の輪が広がっていきます。

移動の際には語学学校のアクティビティリーダーが同行してくれます。西高生はリーダーたちに大人気で「今日はNaganonishiと一緒に行動できて本当に嬉しい!」と何人ものリーダーに言ってもらいました。礼儀正しく、朗らかで、何より英語を学ぼうという気持ちの強い西高生は、他国の生徒とは一線を画しています。語学学校の校長先生からも「素晴らしい生徒たちだね、来年もぜひ来てもらいたい」と何度もコメントをいただきました。

ラスキンカレッジに戻って授業を受けた後、今夜のアクティビティは「ディスコナイト!」語学学校の生徒100名ほどでディスコ(クラブ?)に行きました。生まれて初めてディスコに行くという生徒がほとんどですから、一体何をして良いのやら一抹の不安を抱きながら移動します。今夜は語学学校の生徒がお店を貸し切っていますので、安全にハジけることができます。大音量と色とりどりの光に包まれた店内では、DJのかけ声で否が応でも盛り上がります。ラテン系の生徒たちのノリに負けないよう全力で体を揺らし、ちょっと大人気分を楽しみました。

気持ちの良い汗をかいて寮に戻ってぐっすり眠った深夜。女子寮で非常ベルが響き渡りました。時計は1:30を指しています。大音量でベルが鳴り、宿泊している部屋にライトが点滅します。(聴覚障害のある方でも非常ベルが分かるように音と光で緊急事態を知らせます)文字通りたたき起こされた私たちは、何があったのか分からないまま避難を始めました。建物の外に出たらしくして、状況が分かりました。寮のある部屋で火災報知器が作動したとのことで、寮のガードマン(とても屈強で怖そうな方)が「201の生徒は誰だ!」と避難をしている人々に呼びかけます。熱を感知しただけだったようで、幸い大事にはなりません。大学寮に宿泊していると、時々このようなことが起こります。それは避難訓練だったり、ボヤ騒ぎだったり様々です。ディスコで疲れた体には応えましたが、緊急時にどのように動けば良いか経験する貴重な機会となりました。

マグダレンカレッジのチャペル



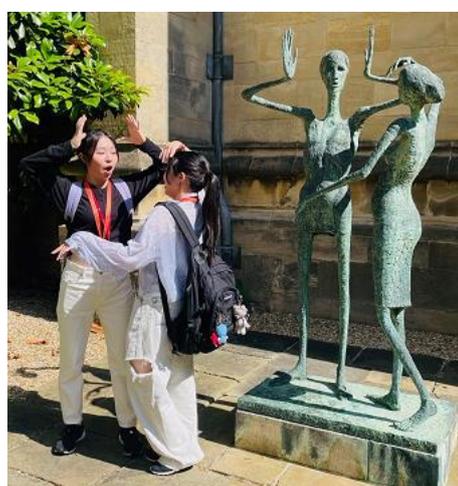
紫陽花に囲まれた中庭



カレッジとは思えない植物の数々



彫刻もありました



ディスコに行かないメンバー (でもこのテンション!)



カオスと化したダンスホール



【長野西高等学校 海外語学研修 7日目報告書】⑧-12

研修7日目。ラスキンカレッジで過ごす最後の一日となりました。初めてカレッジに来た時は不安そうな表情を浮かべていましたが、今ではまるで自分の通っている学校のような気分です。いつものカフェテリアで朝食を取り、いつものクラスでレッスンを受ける姿は、たくましささえ感じるようになりました。クラスによって学ぶ内容は異なりますが、あるクラスではテーマに沿ったプレゼンテーションを何度も行いました。語彙力を試すゲーム、様々なジャンルの映画クイズ、もちろん文法の学習を行うこともありますが、ほとんどはクラスメイトと協力して課題に取り組む授業内容です。質問されても恥ずかしく答えられなかった時もありましたが、今は違います。「反省も後悔も日本に戻っていくらでもできる。今は昨日の自分より少しでも成長できるよう、自分にできることをやる」と語ってくれます。ここまでたった7日間ではありますが、強い心で前向きに取り組む力を身に着けています。最後の授業では、クラスを担当してくれた先生から「生徒から日本のことを色々教えてもらって、日本がとっても大好きになった。いつか必ず日本に行きたい。」と嬉しいメッセージをいただきました。終了証を先生からいただき、カレッジでの授業に幕を閉じました。

一緒に授業を受けたクラスメイト





午後のアクティビティはお待ちかね(?)のコッツウォルズワイルドライフパーク&ガーデンズを訪問しました。広大な敷地に色とりどりの植物やたくさんの動物。日本の動物園とは異なり、動物はより自然に近い環境で展示されています。日本では一つひとつの動物はコンクリートの檻等で囲まれています。ここでは腰程度の高さにワイヤーが張られているだけで、圧迫感を感じません。また、ライオンやヒョウなど大型肉食動物は生き茂る植物の中にいるのでどこにいるのか一見すると分かりません。とはい、本日はとても暑く 30°C近くまで気温が上昇しました。強い直射日光に、動物たちも暑さでバテているのか、大きな体を横たわらせてくつろぎながらお昼寝する姿を見ることができました。

パークの動物たちと



【長野西高等学校 海外語学研修 8日目報告書】 ⑧-14

研修8日目。オックスフォードに別れを告げて、本日はロンドンを訪れました。カレッジからロンドンの中心部まで、専用車で約2時間の移動です。昨日は暑かったこともあり、バスに乗るとすぐに寝息が聞こえてきました。しばしの休憩でエネルギーをチャージした後、最初に降り立ったのはロンドン塔です。テムズ川沿いに建つロンドン塔はかつて王宮として使われていましたが、その後監獄となった歴史を持ちます。テムズ川クルーズをするまで、ロンドン塔の近くで自由時間を取りました。イギリスでお買い物ができるチャンスとばかりに、短い時間でしたがあちこちのお店を覗いて、大きなバッグを抱えて戻ってきました。

お土産を抱えて船に乗り込む一同。テムズ川クルーズは、ロンドン塔から出発し、タワーブリッジを眺め、ロンドンブリッジの下を通り、ビッグベンまで移動します。映画や小説で見たロンドンを象徴する建物をテムズ川から眺めました。船から降りてビッグベンの横を通り、ウエストミンスター寺院の前で、アクティビティリーダーの **Em**a から教会の歴史についての説明を受けていた時に、緊急事態発生！突如集まってきた警察官が「広場から離れて！」と西高生を含めた観光客全員に移動を促したのです。何かかと思っていると、私たちがいた広場にドクターヘリが降りてきました。これには周囲にいた人々もびっくり。ビッグベンや教会を撮影していたカメラをヘリに向けて「おおー！」という声が響き渡りました。

救急隊員がヘリから降りたことを確認して、次なる目的地バッキンガム宮殿へ移動を開始しました。言わずと知れた英国王室の居住地。先日天皇陛下も宮殿内で晚餐会に参加されました。高い帽子を身に着けた近衛兵も遠くに見ることができます。その後、トラファルガー広場、ナショナルギャラリーを経てレスタースクエアでロンドン最後の自由時間となりました。何を買おうか考えながら、思い出すのは日本の家族のことです。「もうすぐ日本に帰って家族に会える」という気持ちと「もう研修が終わってしまう」という気持ちが同時にこみ上げてきます。そして今日まで様々なアクティビティに同行してくれたリーダー達ともお別れです。語学学校の校長先生のお嬢さんで、お母さまが日本人の **Aili**。元気いっぱいいつも私たちを笑顔にしてくれました。優しく語りかけてくれた言葉で、勇気もらった生徒も少なくありません。そしてもう一人のリーダー、イタリア人の **Em**a。常に私たちのことを気にかけてくれて、「長野西は僕のお気に入りだよ！」と何度も言ってくれる彼はとってもキュート！「一緒に日本に連れて帰りたいくらい可愛い」と、男女問わず生徒から大人気でした。

この研修は多くの人に支えてもらって成り立っています。日本の家族、イギリスのスタッフ、学校の先生方や友人たち。帰国が迫る今日は、様々なことを考える日でもありました。楽しくて大笑いしたことも、悔しくて涙したこともありました。海外での生活は計画通りにいかないことも多く、イライラしたりがっかりしたこともありました。しかし、そうした経験の一つひとつが、自分自身を成長させる種となって大きくなっていったのです。日本にいた時は気が付かなかった、自分の強さや弱さを知ることができました。長野西高等学校の仲間と一緒に乗り越えて、明日はいよいよ日本に帰ります。明日は移動日となりますので、研修の報告書はこれが最後となります。改めてこの研修を支えてくださった皆さま。本当にありがとうございました。この研修の真価が問われるのは、帰国後です。イギリスで学んだ多くのことを、学校に帰ってからどのように発揮していくのか、ぜひ楽しみにお待ちください。

最後まで、お読みいただきありがとうございました。

まずはタワーブリッジ！



クルーズしながらランチ



言わずと知れたビッグベン



広場で説明を聞いていると…



ウェストミンスター寺院



目の前にヘリコプター着陸！



観光客であふれかえるバッキンガム宮殿



